

明石さんの「子どもは子どもの中で育つ」を紹介して

明石洋子さんの「保育学研究、vol.44.no.2.2006.」への寄稿文「子どもは子どもの中で育つ」を、明石さんの承諾をいただき、メル友へ紹介した。

ある親御さんが更に知り合いの方々に紹介して、その方々からいただいた感想（抜粋）を転送してきてくださった。

「自分が、どうして子供達と係わり合いを育む事を職業に選んだのかという初心を思い出しました。

これからも私にもし出来そうな事があれば何でも声をかけて下さいね。

自閉症の人達の幸せを一番に考えて、周りはその権利のために運動をしていかないと何も進歩していかない事も痛感しました。

当たり前前事が当たり前出来る社会をつくっていきたいですね。（保育園で障害児の担当保育士）」

「資料には大変共感させられました。

このところ私が考えていた思いと全くを持って同じで、私の考えが間違っていなかったと、あるいみ私自身の自信にもつながりました。

この文章を、参加者の皆様に配布させて頂いてよろしいでしょうか？是非多くの方に読んで頂きたいものであります。（地域の支援サークルの代表）」

「明石さんの原稿、私自身の障害児教育の歴史とも重ねて読ませていただきました。

障害の捉え方や手立て、対応も不十分な時代を経て障害児教育もずいぶんと変わってきました。

私たちの先輩は、明石さんが『子どもは子どもの中で育つ』と書かれているように集団で取り組む中で、どんなに重度な子どもでも発達する事実を明らかにし、積み上げる中で義務制そのものも作り上げてきました。障害や発達そのものも実践の中で明らかにして実践も深められてきました。

まだまだ障害児教育の歴史そのものも新しく、発展途上です。学校によっても考えや実践の違いもあります。

障害児教育、まだまだ不十分だけど発展していくものとしてとらえていただければありがたいです。（放課後保障に取り組む養護学校教師）」

この親御さんは「相手がどう受け止めるか」等と要らぬ詮索をせず、良かれと思い、文献を紹介・配布している勇気ある直向きな姿に頭が下がります。

文献を紹介したことが、メル友を通してみなさんに読んでいただいていることを知り、自分の厚かましさも役立っているよう。

こうしたことを知ると、自分は益々厚かましくなりそう(ノ^)

注：寄稿文は、「雑学BN」の「リンク関係（I）」Pからリンクしています「明石さんコーナー」の2006.12.25.「子どもは子どもの中で育つ」からリンクしています。

<http://cen.web.infoseek.co.jp/baltuku/akasi/2006-12-hoikugaltukai.pdf>